

大事なのは実践! “取扱説明書”の整理をしてみよう!

増やせて、取り出しやすい
おすすめの収納グッズは、「**インデックスファイル&ファイルボックス**」



適切な収納グッズ選びも成功の秘訣!



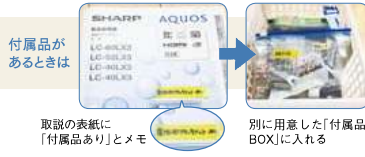
新しく買ったら

取説置き場を再整理

今は使っていない製品の取説がないか確認を。全体量が少ないほうが使いやすい、整理もラク。

ポイントとはさむだけ方式

- ① 収納グッズを用意する
A4サイズがおすすめ。クリアファイルにインデックスシールをつけるだけで、仕切り代わりに
- ② 取説類を全部出し、「要」「不要」に分ける
- ③ 見出しをつける
「キッチンまわり」「洗面所で使うもの」など、家族の誰が見てもわかる見出しを。手書きがベター。最初から完璧はめざさず、マスキングテープなどで仮見出しを作り、使いながら変更すればOK
- ④ 取説を該当のスペースにポイントとはさむ
見たら手前へはさむと、よく使うものが前にきて探しやすくなる



スマホユーザーには
デジタル化もおすすめ
最近は便利なアプリがたくさん!
「書類整理」「プリント整理」「名刺整理」などと検索すると、自分に合ったアプリが見つけれられるかも!



取説の整理に成功したら

別のカテゴリーも整理しよう!

処分や分類が苦にならないように、感情の入らないカテゴリーから整理するのがおすすめ

たとえば **ポイントカード類**

クリアファイルを切って、見出しをつけ仕切りにする。底にプチプチなどを敷くとカードが傷れにくい。「ポイントの残高」などは、カードの表面にメモをつけておくことで期限切れ防止に。



機能的な収納は家族の自立心も育てます



小宮家のリビングに置かれたチェスト。紙・書類はここにひとまとめ。家族も「ココにある」とわかってるので、各自で探してくれる

私が整理整頓するのは、「私に聞かないで」という思いから。すからわが家では子どもでもどこに何があるかわかるようにして、「ママ、あれどこ?」と言われないようにしています(笑)。忙しい毎日このちょっとしたことでも、余裕ができれば笑顔でいられますからね。

そんな私も、母からの絵手紙は捨てられません。夫は、入社時からの給与明細書を全部残しています。どちらも大切なものです。要、不要を見極めてこそ大切なものが見えてさらに大切にできる気がします。子どもも持ちものも、その子自身に判断させてあげてください。ものの管理や片付けは、自立心を育てます。ぜひ、できることから実践してくださいね!



整理収納士 小宮 真理さん

整理収納アドバイザー2級認定講師。2級建築士。整理収納サービスで訪れた個人宅は150件を超える。セミナー講師としても人気。http://ameblo.jp/kaitexi-marisroom/

記事を
読んでだけ
し。ダメですよ

紙モノ整理術

承える!
ちらかる!!



ペーパーレスの時代とはいえ、新聞、DM、領収書、学校からのプリント…。毎日かさんでいく紙類は部屋が散らかるもです。年末を前に、思いきって整理してみませんか?

まずは、

いらない物を捨てましょう!

各種明細書

支払いですか?

各会社からの請求のお知らせに過ぎないので、支払いがすめば即不要



でも…
いらない
ものって
どれ??



領収書類

何かに必要?

経費精算や確定申告、家計簿などの用事がすんだらもうゴミ!



クーポン・ポイントカード・診察券

よく行くお店や病院?

役立てたいなら、整理を! 診察券などはまとめて家族の名前(人)ごとにすると便利



もしかしたらそれ、全部ゴミかもしれませんか!

子どものもの だれのもの?

「子どものものは子どもに判断させる」のがベスト。意外と判断力のある子どもに対して、捨てられないのは親のほう。捨てられない子には「好きな10個だけね」などと選ばせてみては。学校からのお知らせなどは、家族で閲覧できるよう掲示やファイリングを。携帯内に写真で保存しておくのも便利

新にはダニが住みつきがダニの温床になる前に整理しましょー



雑誌・本

また読む?

古い雑誌は、流行や施設が変わり、今は役に立たなくなっているのでは? 何度も読み返す記事なら、切り抜いてファイリングを



ハガキ・手紙

どんな目的で届いたもの?

例えば、年賀状は「元気にやっています」という年始めの挨拶。互いに挨拶を交わしたと考えるともう不要では? 取っておけばおくほど、捨てにくくなることも

本当に保管すべきものは整理を

- ・ 保険証、生命保険証書、年金手帳
- ・ 家の登記簿、投資関連
- ・ 各種技能の免許証、離職書類(就職で必要の場合)
- ・ 領収証類(確定申告などで必要な場合)
- ・ 保証書(有効期限内の場合)



特別な思いのあるものは“思い出箱”へ



ほかの雑貨といっしょに、ひとり一箱と決めて、各自が管理する。年末や3月など年に一度は見直しを。年を過ごすごとに大事なものも変わってくるはず